

ムード歌謡
漫談

じゅん

とおみね

タブレット純 & 遠峰あこ

唄う
アコーディオン
弾き

昭和100年企画 港文化小劇場開館30周年記念

昭和歌謡ショー

黄金の日活映画

「みなとシネマ」2025年度上映作品の主題歌も歌唱予定です！

日活映画の黄金期を飾った数々の名曲を

お二人の歌声でたつぷりとお楽しみください！

今回だけのスペシャル企画でお届けします！

港文化小劇場人気企画

「みなとシネマ」なつかしの邦画特集「連携企画」

今をときめくムード歌謡漫談でお馴染みのタブレット純さん、

唄うアコーディオン弾きの遠峰あこさんの

お二人による懐かしの昭和歌謡ショー。

2025年

5月6日(火・休)

チケット：3月7日(金) 9:00～ 発売開始

一般	3,000円
事業団友の会割引	2,700円
障がい者手帳をお持ちの方	2,700円
港区民割引	2,700円
みなとシネマ割引	2,700円

●港文化小劇場 052-654-8214

●名古屋市文化振興事業団が管理する文化施設窓口

●名古屋市文化振興事業団 052-249-9387
チケットガイド(ナディアパーク8階)

●電子チケット(クレジットカード・コンビニ払い対応) 
<https://teket.jp/1101/45081>

スマートフォンからも
買えます



・障がい者手帳をお持ちの方のチケットは、本人と付添1人まで割引料金でお求めいただけます。

・港区民割引は、窓口での販売は港文化小劇場のみです。名古屋市区在住、在学、在勤の方が対象になります。身分証や学生証、勤務先の名刺などをご提示ください。

・みなとシネマ割引は、窓口での販売は港文化小劇場のみです。「みなとシネマ～なつかしの邦画特集～」の半券またはチケットをご提示いただいた方が対象です。

会場：港文化小劇場

- 地下鉄名港線「港区役所」下車 1番出口より南へ徒歩3分
- あおなみ線「稲永」より、市バス幹築地1号系統港区役所行、高畑13号系統港区役所行「港郵便局」下車すぐ



問合せ：港文化小劇場 052-654-8214 (9～20時/日祝9～17時/月曜休)

主催：財団法人名古屋市文化振興事業団 [港文化小劇場]

協賛：

みなと納骨堂 福寿苑

事業主体 (宗)秀葉院/港区作倉町2-46

販売代理 (株)名港葬儀 ☎052-355-6383

宗教不問
管理費不要

タブレット純 & 遠峰あこ

昭和歌謡ショー

黄金の日活映画



ムード歌謡漫談

じゅん
タブレット純

2002年、ムード歌謡の老舗グループ 和田弘とマヒナスターズに「田淵 純」として加入しデビュー。和田弘氏逝去後はソロで活動、寄席・お笑いライブにも進出。ムード歌謡漫談という新ジャンルを確立し、異端な存在となっている。
レギュラー番組「タブレット純 音楽の黄金時代」(ラジオ)、また「歌ネタ王決定戦2014」決勝進出など。



唄うアコーディオン弾き
漫謡

とおみね
遠峰あこ

アコーディオン弾き語り。日本の民謡や世界の民謡、オリジナルソングを唄う。大道芸、祭、ライブハウス、落語会、野毛の居酒屋流し、パリの街角まで、様々な場所でライブを開催中。海外ツアー、世界各地のフェスティバルやライブハウスなどで、着物にアコーディオン姿で日本民謡を唄い話題に。海外民謡に空耳翻訳で日本語歌詞をつけた、唄のお土産シリーズも大好評。

館長のおすすめコメント

「タブレット純のファンは、売れてほしくないと思っている!?」—そんなネットニュースが流れる少し前、お二人のライブに始めて伺いました。タブレット純さんはまだ40代だというのに、昭和の歌謡曲をたくさん熱唱し、アコーディオンの遠峰あこさんは昭和の香りたっぷりに軽快な流行歌や大衆歌をハツラツと唄い上げます。2人の息もぴったりで、最初から最後まで笑いと感動があふれるステージでした。タブレット純さんはヘニョヘニョなおしゃべりも魅力で、歌となるとしっとりとした低音のイケボ。テレビやラジオで人気急上昇中! プレイク必至!? ぜひ“生タブ純”に会えるこのチャンスをお見逃しなく!



♪♪♪ こちらの上映作品の主題歌も歌唱予定 ♪♪♪



みなとシネマ2025年 上映作品一覧



【入 場 料】500円

【2回上映】①10:30~ ②14:00~

各作品の上映は1日限りです。お見逃しなく!



くわしくはこちら

2025年
5月14日(水)



© 日活

夜霧よ今夜も有難う

2025年
7月9日(水)



© 日活

青い山脈

2025年
9月10日(水)



© 日活

渡り鳥北へ帰る
北帰行より

2025年
11月12日(水)



© 日活

いつでも夢を

2026年
1月14日(水)



© 日活

学園広場

2026年
3月11日(水)



© 日活

霧笛が俺を呼んでいる